

私たちが飲んで飲んでいる水はどこから来るのでしょうか？朝日町では、一ツ沢と雪谷の湧水が主な水源になるそうです。一ツ沢の水は、立木滅菌室を通り、曲淵新タンクを經由して宮宿や西部地区へ。雪谷水源と西川町浄水場（西村山広域水道）の水は一度豊龍タンクで混ざって、和合へ。大谷は西川町の浄水場から直接ひいているそうです。朝日町に浄水場がないのは、きれいな水源をつかっているため、滅菌室だけで安全な水が確保できるからだそうです。塩素がきれいなよう補充したり、毎月一回の水質検査や施設管理など、役場の方が管理してくださっているおかげで、毎日安心して水道水を飲めることが分かりました。

問題です！朝日町に浄水場がないのはなぜでしょう？（←ヒント）



①教室でのお話



出発前に、建設水道課職員の方よりこれから行く場所について説明していただきました。

②立木滅菌室



二手に分かれて見学。

塩素注入の部屋

滅菌制御盤のある部屋



機械の背面に回線がありました。



タンクから塩素が自動投入される仕組みになっています。タンクの蓋を開けて匂いをかぐと、プールと同じ匂いがしました。

安定した塩素濃度が保たれるように自動制御する装置。役場へデータが送られ、随時状況を把握することができるそうです。

④雪谷タンク



雪谷タンクは地下にあるそうです。あさひフットパス「雪谷 瀬音の小道」駐車場すぐの場所です。

③曲淵新タンク



曲淵新タンクをバス車内から見学。

⑤豊龍タンク(豊龍公園)



雪谷・村山広域水道の水。和合や送橋の水道はこちらの水です。



一ツ沢水源の水。宮小の水道水はここからきています。



豊龍公園には、水源が「一ツ沢」、「雪谷・村山広域水道（西川町）」の2つのタンクがあり、それぞれの水を飲み比べしました。現タンクの老朽化による新しいタンク建設のため、工事がおこなわれていました。豊龍タンクにのぼって見学する予定でしたが、スズメバチの巣があったため断念しました。